

令和5年度

学 校 要 覧



三重県立杉の子特別支援学校

〒513-0004 三重県鈴鹿市加佐登三丁目2番2号

電話 059-379-1611(事務室)

059-379-1831(小学部知的教育部門職員室)

059-379-1652(小・中学部肢体不自由教育部門職員室)

059-379-1650(高等部肢体不自由教育部門職員室)

FAX 059-379-1632

ホームページ <http://www.mie-c.ed.jp/ssugin/>

E-mail ssugin01@mxs.mie-c.ed.jp



杉の子特別支援学校校歌

作詞 村 主 堯 秀

作曲 藤 門 光 昭

昭和53年2月11日制定



三、			二、			一、							
燃	我	潮	伊	燃	我	明	若	鈴	燃	我	歴	い	鈴
や	等	風	勢	や	等	日	鮎	鹿	や	等	史	に	鹿
し	の	の	の	し	の	の	お	の	し	の	は	し	の
つ	学	ご	海	つ	学	力	ど	流	つ	学	古	え	連
づ	び	と	原	づ	び	を	る	れ	づ	び	き	し	山
け	舍	く	渡	け	舍	信	清	水	ん	舍	加	の	日
ん	杉	た	り	ん	杉	じ	流	碧	文	杉	佐	ぶ	に
生	の	く	来	希	の	つ	に	く	化	の	登	東	映
命	子	ま	る	望	子				の	子	の	海	え
の	に	し		の	に				地	に	道	道	て
火		き		火					火				

1. 沿革

昭和39年10月	鈴鹿市教育委員会の依頼により、鈴鹿市立加佐登小学校、鈴鹿市立白鳥中学校より教師2名が国立療養所鈴鹿病院へ出向いて出張授業を開始する。
昭和40年4月19日	同病院内に鈴鹿市立加佐登小学校特殊学級・鈴鹿市立白鳥中学校特殊学級が開設される。
昭和46年4月1日	鈴鹿市立加佐登小学校杉の子分校・鈴鹿市立白鳥中学校杉の子分校となる。
昭和49年6月19日	三重県立養護学校鈴鹿分校開設式を挙行し、創立記念日に制定する。
昭和52年4月1日	三重県立杉の子養護学校として開設される。
〃	初代校長 権部 周行 就任
昭和54年4月1日	養護学校の義務制により重度重複児に訪問教育を開始する。
昭和56年4月1日	2代校長 浅生 剛 就任
昭和59年4月1日	3代校長 藤門 光昭 就任
昭和63年4月1日	4代校長 伊藤 文夫 就任
平成元年4月1日	高等部開設される。
平成3年4月1日	5代校長 渡辺 敏雄 就任
平成5年4月1日	重複学級（小・中・高）認定される。
平成6年4月1日	6代校長 出口 義明 就任
平成9年4月1日	7代校長 川添 護 就任
平成10年6月7日	高等部棟竣工式を挙行する。
平成11年4月1日	高等部訪問教育を試行する。
平成12年4月1日	8代校長 大市 智子 就任
平成14年4月1日	9代校長 和田 文子 就任
平成19年4月1日	学校教育法の改正に伴い「三重県立杉の子特別支援学校」に改める。
平成19年4月1日	10代校長 浅生 篤 就任
平成20年3月	「県立特別支援学校整備一次実施計画」において、石薬師高等学校内に分校（知的障がい対応の高等部）を設置する計画が公表される。
平成20年4月1日	知的障がい教育部門を設置する。
平成21年4月1日	11代校長 望月 順一 就任
平成22年4月1日	三重県立杉の子特別支援学校分校（高等部）が三重県立石薬師高等学校内に開校される。
平成22年12月1日	12代校長 川本 清貴 就任
平成25年4月1日	13代校長 生駒 昌之 就任
平成27年4月1日	14代校長 竹田 秀成 就任
平成29年4月1日	15代校長 坂本 学 就任
令和2年4月1日	16代校長 藤田 盛久 就任
令和4年4月1日	17代校長 小林 高人 就任
令和5年4月1日	知的障がい教育部門（中学部）が石薬師分校に移転される。

2. 教育目標

(1) 学校教育目標

一人ひとりの児童生徒の可能性を引き出し、生きる力を育成する。

(2) 目指す学校像(基本理念)

◇一人ひとりの可能性を伸ばし、生きる力を育む学校をめざす。

- ・一人ひとりの教育的ニーズや障がい特性に応じ、その可能性を伸ばす教育活動の充実
- ・一人ひとりの自立や社会参加をめざした一貫性のある教育の構築
- ・教職員間の対話・会話を大切にしたい組織力の向上
- ・共生・共学の推進
- ・防災対策・防災教育の推進
- ・人権感覚あふれる学校づくりの推進

(3) 学部目標

<小学部>

- ①健康な体を作る。
- ②身近な先生や友だちと関わり合いながら、コミュニケーションの基礎を身につける。
- ③生活のルールやマナーを身につける。
- ④遊びや生活経験を通して学習意欲をもつ。
- ⑤社会参加に向けて生活の基礎を作る。

<中学部>

- ①健康な体を作る。
- ②集団の中の自分を意識し、集団の中でのやり取りを通して、自分から周りへ働きかける。
力を身につける。
- ③集団のルールやマナーを身につける。
- ④学習に意欲的に取り組み、幅広い知識を身につける。
- ⑤校内から校外へ目を向け様々な体験を通して、自信につなげる。

<高等部>

- ①健康を保持する。
- ②自分と社会を意識でき、色々な人とのやりとりができる。
- ③社会で生活する上でのルールやマナーを身につける。
- ④自ら学び、教養を深め、文化的な生活を実現する。
- ⑤卒業後の生き方に向けて生活の目標をもち、自立に向けて努力する。

3. 児童生徒数（5月1日現在）

〈小学部〉

		1	2	3	4	5	6	計
鈴鹿市	男	4	4	7	6	5	6	46
	女	3	0	1	7	3	0	
亀山市	男	3	0	0	2	2	0	8
	女	0	1	0	0	0	0	
計		10	5	8	15	10	6	54

〈中学部〉

		1	2	3	計
鈴鹿市	男	1	0	0	3
	女	1	0	1	
亀山市	男	0	0	0	0
	女	0	0	0	
計		2	0	1	3

〈高等部〉

		1	2	3	計
鈴鹿市	男	1	1	1	4
	女	1	0	0	
亀山市	男	0	0	0	0
	女	0	0	0	
計		2	1	1	4

4. 教育課程

◆小学部

A①A②課程(肢体不自由教育領域→小学校に準ずる教育課程)

学年		週授業時数					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
教科別の指導	国語	9	9	7	7	5	5
	社会			2	3	3	3
	算数	4	5	5	5	5	5
	理科			3	3	3	3
	生活	2	2				
	音楽	2	2	2	2	2	2
	図画工作	2	2	1	1	1	1
	家庭					1	1
	体育	1	1	1	1	1	1
	外国語					1.4	1.4
特別の教科 道徳		1	1	1	1	1	1
外国語活動				0.4	0.4		
総合的な学習の時間				0.6	0.6	0.6	0.6
特別活動		1	1	1	1	1	1
自立活動		3	3	4	4	4	4
計		25	26	28	29	29	29

1授業時間を45分とする。

B課程(知的障がい教育領域)

学年		週授業時数					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
教科別の指導	生活	2	3	3	3	3	3
	国語	1	1	1	1	1	1
	算数	1	1	1	1	1	1
	音楽	1	1	1	1	1	1
	図画工作	1	1	1	1	1	1
	体育	1	1	1	2	2	2
	特別の教科 道徳	※	※	※	※	※	※
特別活動		※	※	※	※	※	※
自立活動		2	4	4	4	4	4
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	15	15	15	15	15	15
	遊びの指導	1	1	1	1	1	1
計		25	28	28	29	29	29

※については、主に各教科等合わせた指導の中で取り扱う。

1授業時間を45分とする。

C①課程(肢体不自由教育領域→重複障がい教育領域知的代替)

学年		週授業時数					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
教科別の指導	生活	※	※	※	※	※	※
	国語	1	1	1	1	1	1
	算数	1	1	1	1	1	1
	音楽	1	1	1	1	1	1
	図画工作	1	1	1	1	1	1
	体育	1	1	1	1	1	1
	特別の教科 道徳	※	※	※	※	※	※
特別活動		1	1	1	1	1	1
自立活動		14	15	17	18	18	18
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	5	5	5	5	5	5
	計	25	26	28	29	29	29

※については、主に各教科等合わせた指導の中で取り扱う。

1授業時間を45分とする。

C②課程(肢体不自由教育領域→重複障がい教育領域自立活動中心)

学年		週授業時数					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
教科別の指導	生活	※	※	※	※	※	※
	国語	※	※	※	※	※	※
	算数	※	※	※	※	※	※
	音楽	1	1	1	1	1	1
	図画工作	※	※	※	※	※	※
	体育	※	※	※	※	※	※
	特別の教科 道徳	※	※	※	※	※	※
特別活動		1	1	1	1	1	1
自立活動		14	15	17	18	18	18
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	5	5	5	5	5	5
	生活単元学習	3	3	3	3	3	3
	遊びの指導	1	1	1	1	1	1
	計	25	26	28	29	29	29

※については、主に各教科等合わせた指導の中で取り扱う。

1授業時間を45分とする。

D課程(重複障がい訪問教育領域) D①課程:知的代替、D②課程:自立活動中心

全学年		D①	D②
		週授業時数	週授業時数
教科別の指導	生活	※	※
	国語	※	※
	算数	※	※
	音楽	※	※
	図画工作	※	※
	特別の教科 道徳	※	※
特別活動		※	※
自立活動		1	4
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導		2
	生活単元学習	5	
計		6	6

※については、主に各教科等合わせた指導の中で取り扱う。

1授業時間を45分とする。

各教科等を合わせた指導		日常生活の指導	遊びの指導
教科別の指導	生活	4	
	国語	2	
	算数	1	
	音楽		
	図画工作		
	体育	2	0.5
特別の教科 道徳		1	
特別活動		1	
自立活動		4	0.5
計		15	1

各教科等を合わせた指導		日常生活の指導
教科別の指導	生活	0.5
	国語	0.5
	算数	0.5
	音楽	0.5
	図画工作	
	体育	
特別の教科 道徳		1
特別活動		
自立活動		2
計		5

各教科等を合わせた指導		日常生活の指導	生活単元学習	遊びの指導
教科別の指導	生活	0.5	0.5	
	国語	0.5	0.3	
	算数	0.5		
	音楽	0.5	0.3	
	図画工作		0.5	
	体育			0.5
特別の教科 道徳		1		
特別活動				
自立活動		2	1.4	0.5
計		5	3	1

各教科等を合わせた指導		生活単元学習	日常生活の指導
教科別の指導	生活	0.4	0.2
	国語	0.4	0.4
	算数	1	0.2
	音楽	1	0.4
	図画工作	1	0.4
	特別の教科 道徳	1	0.2
特別活動		0.2	0.2
自立活動			
計		5	2

◆中 学 部

A①A②課程(肢体不自由教育領域→中学校に準ずる教育課程)

全学年		週授業時数
教科別の指導	国語	①4②4③3
	社会	①3②3③4
	数学	①4②3③4
	理科	①3②4③3
	音楽	1
	美術	1
	保健体育	1
	技術・家庭	1
	外国語(英語)	4
	選択教科	—
特別の教科 道徳		1
総合的な学習の時間		1
特別活動		1
自立活動		5
計		30

1授業時間を50分とする。

①は1学年、②は2学年、③は3学年をあらわす。

C①課程(肢体不自由教育領域→重複障がい教育領域知的代替)

全学年		週授業時数
教科別の指導	国語	1.5
	社会	※
	数学	1.5
	理科	※
	音楽	1
	美術	1
	保健体育	1
	職業・家庭	※
	外国語(英語)	※
	選択教科	—
特別の教科 道徳		1
特別活動		1
自立活動		14
各教科等を 合わせた指導	日常生活の指導	7
	生活単元学習	1
計		30

※については、主に各教科等合わせた指導の中で取り扱う。

1授業時間を50分とする。

各教科等を合わせた指導		日常生活 の指導	生活単元 学習
教科別の 指導	国語	1	0.25
	社会	0.5	0.25
	数学	1	0.25
	理科	0.5	0.25
	音楽	1	
	美術		
	保健体育		
	職業・家庭	0.5	
	外国語	0.5	
	特別の教科 道徳	1	
特別活動			
自立活動		1	
計		7	1

C②課程(肢体不自由教育領域→重複障がい教育領域自立活動中心)

全学年		週授業時数
教科別の指導	国語	※
	社会	※
	数学	※
	理科	※
	音楽	2
	美術	2
	保健体育	2
	職業・家庭	※
	外国語(英語)	※
	選択教科	—
特別の教科 道徳		※
特別活動		1
自立活動		15
各教科等を 合わせた指導	日常生活の指導	7
	生活単元学習	1
計		30

※については、主に各教科等合わせた指導の中で取り扱う。

1授業時間を50分とする。

各教科等を合わせた指導		日常生活 の指導	生活単元 学習
教科別の 指導	国語	1	0.3
	社会	0.5	
	数学	0.5	
	理科	1	
	音楽	1	0.2
	美術		
	保健体育		
	職業・家庭	0.5	
	外国語	0.5	
	特別の教科 道徳	1	
特別活動			
自立活動		1	0.5
計		7	1

D課程(重複障がい訪問教育領域) D①課程→知的代替、D②課程→自立活動中心

全学年		週授業時数	
		D①課程	D②課程
教科別の指導	国語	※	※
	社会	※	※
	数学	※	※
	理科	※	※
	音楽	※	※
	美術	※	※
	職業・家庭	※	※
	外国語(英語)	※	※
	特別の教科 道徳	※	※
	特別活動	※	※
自立活動		1	4
各教科等を 合わせた指導	日常生活の指導		2
	生活単元学習	5	
計		6	6

※については、主に各教科等合わせた指導の中で取り扱う。

各教科等を合わせた指導		日常生活 の指導	生活単元 学習
教科別の 指導	国語	0.4	0.5
	社会	0.1	0.5
	数学	0.2	0.5
	理科	0.1	0.5
	音楽	0.4	0.5
	美術	0.2	0.5
	職業・家庭	0.1	0.5
	外国語	0.1	0.5
	特別の教科 道徳	0.2	0.5
	特別活動	0.2	0.5
自立活動			
計		2	5

◆高等部

A課程（肢体不自由教育領域→高等学校に準ずる教育課程）

教科	科目	標準 単位数	設置 単位数	令和5年度入学生			令和4年度入学生			総修得 単位数
				1年	2年	3年	1年	2年	3年	
教科 別の 指導	国語	現代の国語	2	4	2		2	2		4
		言語文化	2	3	2		1	1	2	3
		国語表現	4	4		4			4	4
	地理歴史	地理総合	2	2	2			2		2
		歴史総合	2	2		2		2		2
	公民	公共	2	2		2	2			2
		政治・経済	2	2		2		2		2
	数学	数学Ⅰ	3	4	2		2	2		4
		数学A	2	2		2			2	2
	理科	科学と人間生活	2	2		2	2			2
		化学基礎	2	2		2			2	2
		生物基礎	2	2	2			2		2
	保健体育	体育	7~8	7	2	2	3	2	2	7
		保健	2	2	1	1	1	1		2
	芸術	音楽Ⅰ	2	3	1	1	1	1	1	3
		美術Ⅰ	2	3	1	1	1	1	1	3
	外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	4	2		2	2		4
		論理・表現Ⅰ	2	2		2			2	2
	家庭	家庭基礎	2	2		2	2			2
	情報	情報Ⅰ	2	2	2			2		2
	学校設定教科	課題研究	2~5	2					2	2
	総合的な探究の時間		3~6	4	1	1	2	1	1	4
	特別活動			3	1	1	1	1	1	3
	自立活動			25	9	9	7	9	9	25
	総単位数			90	30	30	30	30	30	90

■は、必修科目

・1単位時間を50分とする。

・「科学と人間生活」を含む2科目、又は、基礎を付した科目を3科目。

教科	科目	標準 単位数	令和3年度 入学生 3年
国語	国語総合	4	1
	現代文A	2	1
地理歴史	世界史A	2	2
	日本史A	2	
公民	地理A	2	
	現代社会	2	
数学	数学Ⅰ	3	
	数学活用	2	2
理科	科学と人間生活	2	
	生物基礎	2	継続
芸術	化学基礎	2	
	音楽Ⅰ	2	1
保健体育	美術Ⅰ	2	1
	保健	2	1
家庭	体育	7~8	3
	家庭基礎	2	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	2
	英語会話	2	1
情報	社会と情報	2	
	課題研究		3
総合的な探究の時間		3~6	2
特別活動			1
自立活動			7
総単位数			30

■は、必修科目

・日本史A、地理Aは、いずれか1科目を選択。
・生物基礎、化学基礎より、1科目を履修した
後、同科目を継続して履修。

C課程（肢体不自由教育領域→重複障がい教育領域）

全学年		週単位 時数	
		C①	C②
教科 別の 指導	国語	1	※
	社会	※	※
	数学	1	※
	理科	※	※
	音楽	2	2
	美術	1	1
	保健体育	2	2
	職業	0	0
	家庭	※	※
	外国語（英語）	※	※
	情報	0	1
特別の教科 道徳		※★	※★
総合的な探究の時間		1	☆
特別活動		1	1
自立活動		13	17
各教科等を 合わせた指導	日常生活の指導	7	7
	生活単元学習	1	
計		30	30

各教科等を 合わせた指導		日常生活 の指導	生活 単元 学習
教科 別の 指導	国語	1	0.25
	社会	0.25	0.25
	数学	1	0.25
	理科	0.25	0.25
	音楽	0.5	
	美術		
	保健体育		
	職業		
	家庭	0.5	
	外国語(英語)	0.5	
特別の教科 道徳		1	
特別活動		1	
自立活動		1	
計		7	1

・※については、主に各教科等を合わせた指導
の中で取り扱う。
・★については、全教育課程を通じて行う。
・☆については、自立活動の一部を充てる。
・1単位時間を50分とする。

D課程（重複障がい訪問教育領域）

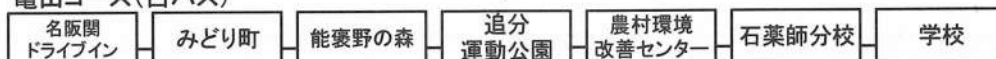
全学年		週単位
		時数
教科 別の 指導	国語	※
	社会	※
	数学	※
	理科	※
	音楽	※
	美術	※
	保健体育	0
	職業	0
	家庭	※
	外国語（英語）	※
	情報	0
特別の教科 道徳		※★
総合的な探究の時間		☆
特別活動		1
自立活動		4
各教科等を 合わせた指導	日常生活の指導	5
	計	10

各教科等を 合わせた指導		日常生活 の指導
教科 別の 指導	国語	0.3
	社会	0.2
	数学	0.3
	理科	0.2
	音楽	1
	美術	1
	保健体育	
	職業	
	家庭	0.3
	外国語(英語)	0.2
特別の教科 道徳		1
特別活動		0.2
自立活動		0.3
計		5

・※については、主に各教科等を合わせた指導
の中で取り扱う。
・★については、全教育課程を通じて行う。
・☆印については自立活動の一部を充てる。
・1単位時間を45分とする。

5. スクールバス（4コース）

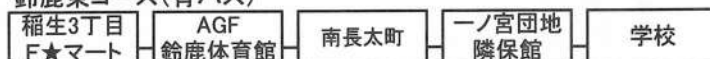
亀山コース（白バス）



鈴鹿中央コース（緑バス）



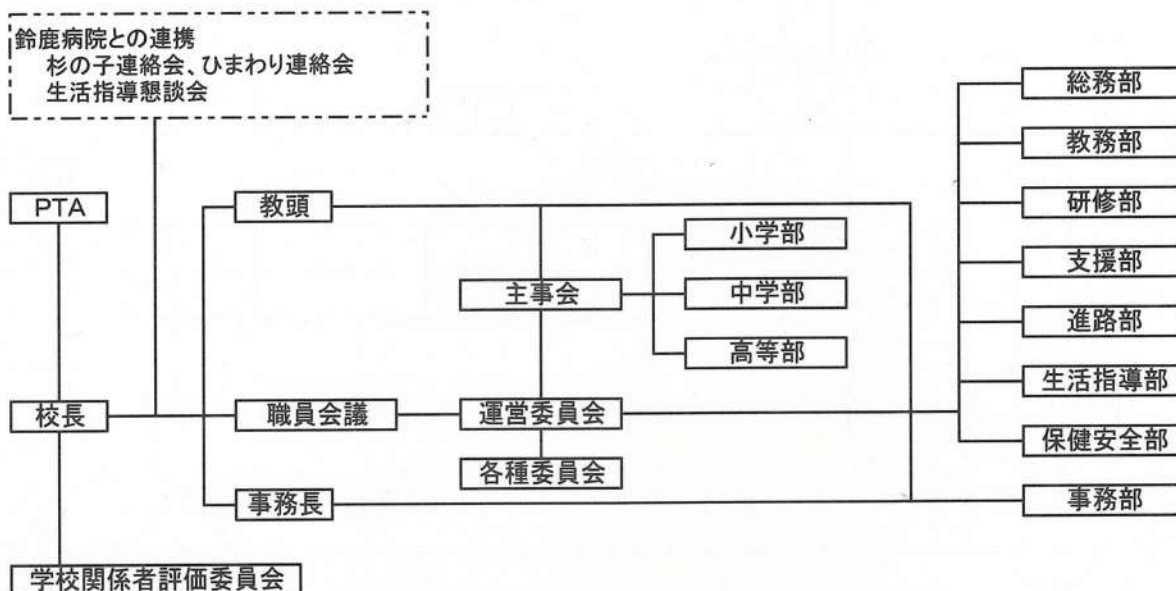
鈴鹿東コース（青バス）



鈴鹿西コース（赤バス）



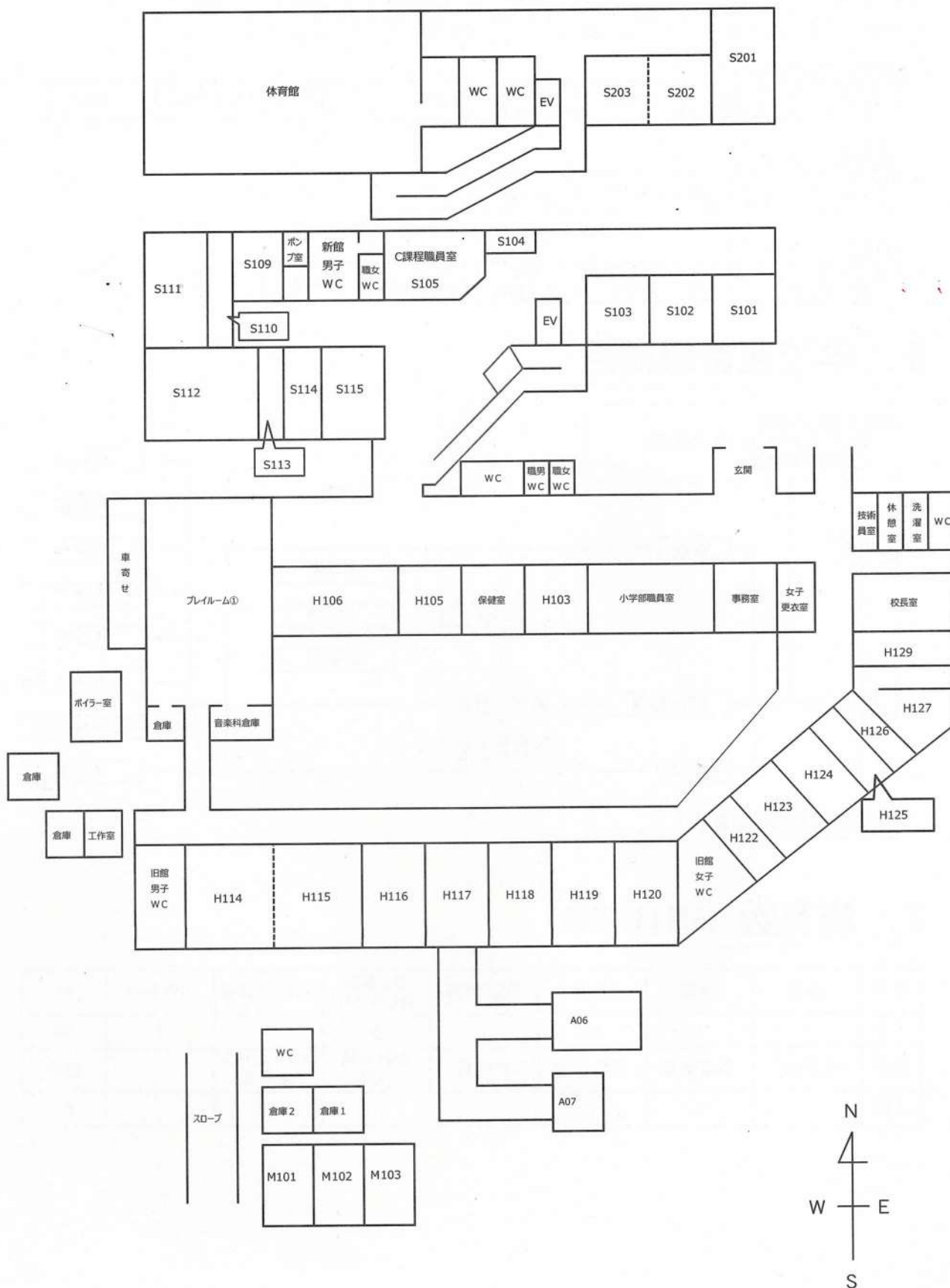
6. 学校運営組織表



7. 職員数（5月1日現在）

職名	校長	教頭	教諭	養護教諭	常勤講師 (看護師含む)	非常勤講師	実習助手	計
人数	1	1	31	1	9	1	1	45
職名	事務長	事務職員	環境整備	介助員	学校業務 支援員	スクールバス 添乗員		総計
人数	1	3	2	2	1	12		66

教室配置図



杉の子特別支援学校

交通のご案内

◎JR 関西本線「加佐登」下車
徒歩約 10 分

◎近鉄「平田町」下車
・コミュニティバス 椿ー平田線約 15 分
「加佐登神社」下車 徒歩約 5 分
・タクシー約 10 分

◎東名阪「鈴鹿 I・C」より 車約 10 分

